

機関誌編集委員会(第2回)議事録

(平成26年6月6日(金) 楽友会館 午後4時から6時)

出席 : 藤井義博(藤女子大学)、苗村育郎(秋田大学)、鈴木芳樹(新潟大学)、吉川弘明(金沢大学)、久保田 稔(関西学院大学)、小倉俊郎(岡山大学)、宮田正和(福岡教育大学)

総会に引き続き、宮田委員長を議長として開会。事務局から配付の議事日程に従って議事を進行了た。

1. 委員長、副委員長の交代について

委員長宮田正和先生の明年3月のご退職に伴い、後任として委員長吉川弘明先生(金沢大学)、副委員長藤井義博先生(藤女子大学)のご就任を全員一致で可決した。

2. CAMPUS HEALTH 51(2)の編集報告及び今後の編集方法等について

①51(2)の編集報告

委員長より51(2)の編集報告及び6月中に発送予定である旨報告あり、全員異議なく了承した。

②(2)の編集費削減について

事務局よりのCAMPUS HEALTH(2)の編集経費削減についての提案を受けて当委員会では下記のとおり決定し全員異議なく了承した。

- (1) HPの投稿用フォーマットを使用し作成した原稿のみ受け付けることとし、投稿規定を別紙1のとおり改定する。
- (2) 現在会費区分別に(A, B2冊、C3冊、D4冊、E5冊)としている配付方法を、各大学に希望部数を確認し送付するよう変更する。
- (3) 名誉会員には(2)のみを送付することとし、名誉会員、執筆者とも送付希望の有無を聞き、希望者のみに送付することとする。

以上は52(2)(平成27年5月発行予定)から適用することとした。

③平成26年5月24日理事会の報告について

(1) 投稿増加によるページ数の増加についての対策として

全国研究集会優秀演題への投稿依頼をやめ、一般投稿のみとすることで全員異議なく了承した。

(2) 査読のあり方について

- ・平成21年の当委員会において編集方針を下記のとおりとし、査読依頼書に記載している旨確認した。

「当委員会では、CAMPUS HEALTHを大学保健管理業務担当構成員にとっての教育・啓蒙書的雑誌と位置づけ、その意味で他の医学雑誌とは異なる柔軟な編集と構成を行う必要があることを委員の総意として了承したところであります。

つきましては、当委員会の編集方針をご理解の上、可能な限り掲載可とする方向でご指導・ご教示賜りますようお願いいたします。(ただし、掲載不適合と思われるものや大幅な修正が必要と思われる場合は、忌憚なくその旨回答書にご記述ください。)

- ・保健管理担当従事者限定の機関誌として位置づけるなら、学術誌と同様の厳しい査読は必要ないとの意見があり、全員了承した。

なお、オープンな機関誌とする場合は、その限りではないとした。

- ・現在査読者は原則として理事、監事、評議員としているが、会員大学の保健管理施設の教員および推薦された専門の教員・研究者にも依頼することとし、全員異議なく了承した。

投稿規定を別紙1のとおり改訂することとした。

(3) 発表、論文のCOI(利益相反)と倫理規定の遵守について

大学の倫理委員会や当協会の倫理委員会の利用方法等についての課題もあり、懸案事項として今後対策を検討することとした。

なお、それに伴う投稿規定の変更および一定期間の周知期間が必要であることを全員異議なく了承した。

(4) 電子ファイル化について

電子ファイル化の実行については、倫理的な諸条件を決める必要があるため、ウェブ委員会、倫理委員会等での検討を待った上で決定したいとの意見があり、全員異議なく了承した。

3. 「創立50周年記念特集号」(平成26年8月発行予定)について

装丁や掲載内容について検討の結果、全員異議なく了承した。なお構成の詳細等については今後の編集過程でその都度委員会で協議検討することとした。

4. 「CAMPUS HEALTH 52(2)」(平成27年5月発行予定)の編集について

① 52(2)特集テーマについて

協議の結果、52(2)特集テーマを「障がいのある学生へのサポート」とした。

② 各論文の内容、執筆者については委員長より後日事務局に報告することとした。

5. その他

① 「大学、大学院の休退学調査の報告」のCAMPUS HEALTH(2)への掲載について

資料として確実に残すために掲載したい旨の提案があり、施設協議会の事業であるため原則一般投稿していただくこととし、また、従来「全国大学メンタルヘルス研究会」の報告書にも掲載されるので、その点の摺り合わせも検討していただくよう要請した。

② (2)特集論文にキーワードを付けるよう会員からの要望があったが、検討の結果、現状では必要性がみられないとして、全員了承した。

③ 地方部会報告書の国立国会図書館への寄贈状況について確認した。

なお、「関東甲信越地方部会ではプログラム・抄録集の作成は継続しているが、地方部会報告書の作成はすでに中止している」との報告があった。

秋の研究集会の際(9月4日)に再度委員会を設け、懸案事項である編集費削減、COI等について検討することを全員異議なく了承し、第2回委員会を終了した。

以上

1. 投稿資格

筆頭執筆者及び corresponding author は、本協会会員とする（第一種会員所属大学の教職員・学生を含む）。ただし、依頼原稿の場合は会員以外でも可とする。

2. 内容

原著については未掲載の論文とする。

編集は原則として特集を中心とし、それに加え、健康管理、医療、教育などに関する論文およびサマリー、所感、トピックス、行事予定・報告、各学会・分野の動向・紹介、追想文、追悼文、健康相談、書評などとする。

3. 論文の受付・受理および掲載

- 1) 原稿は、本協会ホームページにある投稿用フォーマットを使用し、図表、グラフ等もフォーマット中に入力されたもののみ受け付けるものとする。電子原稿を本協会事務局にメールにて添付送信すること。投稿規定の「承諾確認書」に著者全員の署名を付し原稿送付時に同封すること。
- 2) 対象者などに文書または口頭で同意を得たもの、および著者の所属機関の倫理委員会の承認を得たものは、その旨を方法のところに明記すること。また症例記述については匿名性を最大限に配慮すること。
- 3) 論文掲載の採否は2名以上の査読者の審査結果に基づき編集委員会が決定する。査読者は本会の会員大学の保健管理施設教員および推薦された専門の教員・研究者の中から編集委員会が選定する。
- 4) 論文掲載の採択が本協会から通知されたら、最終原稿を事務局に送付すること。
- 5) 本誌ならびに本協会の採択するインターネットホームページ上に掲載した論文の著作権は本協会に所属する。
- 6) 本誌に掲載した論文の無断転載を禁ずる。

4. 論文の形式

《原著論文》

原則として「要旨」600字以内、「キーワード」5語以内、「はじめに」、「対象と方

法」、「結果」、「考察」、「結語」、「文献」の順に記載すること。

英文抄録には「表題」、「著者名」（筆頭筆者については肩書き（Dr.・Prof.・Mr.・Ms）を明

記のこと）、「所属および所在地」、「Keywords」（日本語のキーワードに対応する英語）、

「Abstract」200語以内をこの順に記載すること。

英文抄録は native speaker によるチェック、もしくはそれに準ずるチェックを受ける

こと。

《原著論文以外》

特に形式を定めない。

5. 論文記載の順序・形式

原則として刷り上がり6頁以内とする。

協会ホームページにある投稿用テンプレートを使用するか、あるいはA4版で横書きとし、本文、図表、文献、等を含めた全体として、字数8,000字以内とすること（図、表1枚は400字に換算する）。

《表紙》

表題、著者名、ランニングタイトル(25字以内)を記し、下段に所属および所在地、筆頭執筆者または corresponding author の連絡先住所・電話番号・FAX 番号・電子メールアドレスを記すること。

《章、節などの区分》

原則として、右のような形式で記述のこと。【Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C・1・2・3・a・b・c】

《略語》

略語については、本文中の最初に出たところでフルネームを入れる。専門用語の解説についても同様とする。

《文献》

文献は、引用箇所の右肩に上付きで 1)、2) のように引用順に番号で示し、原稿末尾に下記の形式で番号順にまとめて記載すること。文献数は 20 件以内とする。雑誌の略号は INDEX MEDICUS の表記に従い、それにはないものはフルネームで記載する。著者は 3 名までとし、それ以上の場合は以降を省略し、英文では「et al.」、和文では「他」を付する。

原則として、インターネットホームページは文献として認めない。

(雑誌の場合) 執筆者名. 論文名. 雑誌名 発行年; 巻数: 引用開始頁-終了頁.

Alessandrini P, McRae J, Feman S, et al. Thromboxane biosynthesis and platelet function in type I diabetes mellitus.

N Engl J Med 1988; 319: 208-212.

今井草二, 遠藤真弘. 先天性冠動脈疾患. 呼吸と循環 1973;21:397-409.

(単行本の場合) 著者名. 論文名. In: 書名. 編集者名. 出版社名; 所在地: 発行年. p. 引用開始頁-終了頁.

Abboud CN, Lichtman MA. Structure of the marrow and the hematopoietic microenvironment. In: Williams Hematology 6th ed. edited by Beutler E, Lichtman MA, Coller BS, et al. McGraw-Hill; New York: 2001. p.29-58.

白鳥康史, 小俣政男. ウイルス性慢性肝炎. In: 内科学 第 6 版. 杉本恒明, 小俣政男編. 朝倉書店; 東京: 1995. p. 1036-1039.

《図(写真)、表》

図、表、写真はそのまま印刷できる鮮明なものに限り、カラー印刷やトレーシングは採用しない。挿入箇所を明瞭に原稿欄外に指示すること。

6. 校正

- 1) 著者の校正は初校 1 回のみとし、以降は編集委員会において行う。原稿の変更は初校時までとし、軽微にとどめること。
- 2) 正誤表は、刷り上りの論文が著者の校正と異なる場合のみ、これを作成する。

7. 別刷り

掲載論文の著者は別刷りを作成することができる。それに要する実費は著者の負担とする。別刷り希望部数は著者校正時に記載されている料金を参照し、校正刷り上部に朱書すること。

8. 原稿の提出締切は毎年 12 月 31 日(必着)までとする。投稿された原稿は原則として返却しない。

(原稿送付先) 〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学内
公益社団法人全国大学保健管理協会事務局
(電話) 075-752-5515 (FAX) 075-771-3841
(E-mail) juha-adm@umin.ac.jp